

発行責任者

太田 清

〒270-01 流山市名都借224-5
TEL 0471-46-0210



都島だより
KANTO NANIWA KOGYOKAI
NEWS

16 関東浪速工業会
会報

事務局

笹本 克己

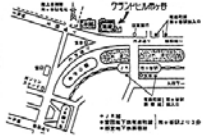
〒108 東京都港区芝5-20-11
TEL.03-5441-4382 FAX 03-5441-4383

平成9年度 総会のご案内

今年度の総会を左記の通り開催致しますので、ご多忙中のこと
と思いますが、万障お繰り合わせの上ぜひご参集下さい。

■日時 11月20日(木) 18時30分〜20時30分
■場所 (市ヶ谷会館) グランドヒル市ヶ谷
TEL・3268・0111

新宿区市ヶ谷本村町4-1
J R中央各停線
地下鉄有楽町線
市ヶ谷駅から
徒歩3分



■懇親会費 7000円(女性と同伴は5000円)
(今春の卒業者は無料とします)

・同封の返信はがきは総会の出欠と共に今後の資料にする為
アンケートにご記入の上必ず投函して下さい。
・会では若い方の積極的な参加を待っています。必ず「行
つてよかった」という結果になると思います。同級生等お
誘い合わせて多勢のご参加を期待しています。

「挨拶」

会長(C18) 太田 清

平成九年度 関東浪速工業会
の会長を幹事の皆様方のご推挙
によりお引受け致しました。三
度目のご奉公で御座居ます。何
卒宜敷くお願い申し上げます。
但皆様方には浪速工業会報第
一二四号で、ご存知の事と思
いますが、今年には母校創立九十年
を迎えました。百周年記念のス
テップと致しまして本部では
色々な行事が催される事にな
っております。既に六月十四日
十五日には東西合同懇親会が長
野県諏訪市で盛大に行なわれ
ました。関東からも二十八名が
参加しまして会を盛り上げま
した。次にお願ですが、(一)関東
浪速工業会と致しまして、記念
事業に協力し成功させる事と、
(二)関東浪速工業会でも独自の行
事を幹事一同で計画致しまし
て、会員皆様と親睦をはかりたい
と考えております。クラスメ
イトお誘いの上ご参加下さいは
幸甚です。最後に関東浪速工業
会発展にご協力の程お願い申し
上げます。

●今年の行事経過報告

①一泊懇親旅行(3月14日)

恒例の幹事と有志の懇親会、
今年には伊東での予定を直前の群
発地震の急遽変更して奥湯河
原の山香荘で実施、参加18名
露天風呂でくつろぎ、カラオケ
を楽しみ、談論風発深夜に及ぶ
愉快な一夜を過ごした。

特に多年に亘り会の為多大の
ご尽力願ったM20三枝寿一氏が
病氣療養中の処数年振りに参加
して下さったが、その後又悪化
され7月28日逝去され、永年親
交を重ねて来た会員との別れ
の旅となつてしまつた。
ご生前の数々のご尽力に改め
て深謝申し上げ、謹んでご冥福を
お祈りする。

②東西合同懇親会(6月14日)
過去3回行なわれたが、今年
も母校創立90周年記念として本
部主催で開催され関東から28名
参加、本部手配のバスにて諏訪
湖畔ホテル山王閣に参集、交歓
の一夜を過ごした。
翌日は諏訪大社参拝、時の科
学館儀象堂、オルゴール博物館
奏鳴館を見学、大阪組とお別れ



下諏訪・山王閣ホテル前にて 関東組

の歓談、記念撮影をして我々関
東組は中央道を東京方向へ、清
里から野辺山のJR最高地点を見
てパーベキューの昼食後は国立
天文台宇宙電波観測所を見学
巨大なパラボラアンテナを見
て、無限の宇宙相手の規模の壮
大さに感服、無事出発点新宿に
帰着し楽しく有意義な旅だった。
③見学会(9月18日)
都心丸の内に誕生した東京国
際フォーラムへ。
シンボリックなガラスホール
棟を始めA/Dブロック迄現在
最高レベルの設備といわれる巨
大な空間は文化と情報を国際規模
で交流できる施設として期待さ
れるもので、ガイドの案内で見
学した。
・これからは10月のゴルフコン
ペ、更に11月には総会を迎える
ことなる。

多数のご参加をお願いします。

●「追悼」三枝さんを偲んで

(M26) 上田 英雄

本会員三枝寿一さんが平成9
年7月28日、70年の生涯を閉じ
られました。特に関東浪速工業
会の活動にご尽力を戴き、未だ
若くしてお亡くなりなられた
ことを大変残念に思います。

私は、昭和33年より本工業会
にお招き戴き、科の枠を外して
の盛大な催しに参加させて戴き
ました。その後一時的に、少し
衰微して来た時、昭和52年頃よ
り上京された三枝さんが率先し
て本工業会の発展に努力され
幹事を励ましつづ今日この隆盛を
得るようになりました。

昭和62年白羊ニュースを発売
する時も、提案者として皆の賛
意を取り付け、今日のMニュー
スに引き継がれたように常に創
造的に活躍されました。

諺に「袖触れ合うも他生の縁」
とか申しますが、三枝さんと私
は学制の違いは有りますが、都
島工業学校(工業高校)・大阪
工専(大阪府立大学)と同じコ
ースをたどつて来ました。無関
係の二人が二校に亘る先輩後輩
の関係を後で顧みる時浅からぬ
縁と言えるでしょう。

その後20年間の交友に於いて、
私事におきましても多岐に
亘る助言を戴き、一方ならぬお
世話になり感謝している次第で
す。

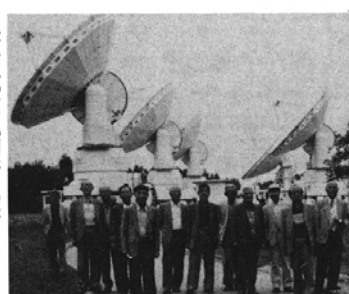
本年3月14日幹事懇話会の席
上でお会いしたのが私にとつて
のお別れとなりました。
長い療養生活だったようです
が、誠に残念でなりません。
ご冥福を心よりお祈り申し上
げます。合掌。

●俳句「小海線」(M18) 小川玉泉

白樺や田植を急ぐ千枚田
湖の全周点り夕立後
酔心醒す諏訪秋宮の梅雨の關
御手洗の出で湯のあふれ梅雨月夜



元氣一ぱい・関東組の合唱



宇宙電波観測所見学
(大パラボラアンテナ前)

明け六つを覚め睡蓮の白二輪
新緑のからまつ縫へり九十九折
筒筒や待てば二輪の小海線
残雪の八ヶ岳近ぢかと牧の牛
郭公の声草原の彼方より



「美しき船よ！」

昨年「飛鳥」でオセアニアクルーズを楽しんだが、航海中その海域にまつわる講座が開かれた。その中で特に感銘を受けた話がある。船がガダルカナル島に向かつて北上していた日、元練習船船長で海軍出身の石橋正氏の「サンゴ海をめぐる話題」という話の中に日本潜水艦とチリーの帆船の物語があった。

昭和19年、この海域を航行中のイ16潜水艦がチリーの練習帆船で米軍に徴用されて物資輸送に当たっていたイ16潜水艦を発見した。早速浮上して砲撃しようとしたが、その姿があまりにも美しいので砲撃を中止し、同船に「A very beautiful ship, good luck on your voyage. (美しき船よ！ 汝の航海の安全を祈る)」と信号を送ってそのまま潜航したと云う。Ensenada号では乗員一同驚きと喜びに包まれたであろう。イ16潜水艦はそれ僅か2ヶ月後に沈められて全員戦死した為、この話は誰も知らなかった。

都島だより

昭和58年大阪で帆船のパレードが行なわれた際、Ensenada号がまだ健在で、来航してパレードに参加した。戦争当時の乗組員が残っていて、あの時の事を忘れておらず、潜水艦の乗組員を探してが生存者無しとのことと聞いて、イ16潜水艦の沈んだ南方に向かつて十字を切ってお祈りしたと云う話である。

あの苛烈な戦争の最中では例えどんなに小さな船でも敵性国の船であれば容赦なく沈めるべきだ。イ16潜水艦の沈んだ行為は許されたい。と云うのが当時の常識だったろう。又日本海軍では戦艦や航空母艦の様な大物に対しては闘志を燃やすが、小さな輸送船等は余り相手にしないのでこれは問題ない。とも言える。一方、敵の物資輸送を断

つのを怠った事が敗因の一つであるとの批判を戦後よく聞く。従ってこの様な甘い考えは許されるべきでない。とも言えるであろう。然し何よりも、美しいものを素直に美しいと感じる海軍軍人があの殺伐たる戦争の最中にいたと云う事、又この事を50年以上も忘れなかった、否忘れられなかった船員が居ると云う事が、私の心を打ったのである。

●「思い出」 大阪百景の内

1 櫻の宮西駅に出て 見渡す源八橋下の新淀川の流れ 夏の日の温い川水に 滑り込んで泳ぎ始めた時の感触が子供の頃のままに蘇る。やや草木色に濁って流れる水の色。潜ってみるとそれは透明な濁りのない水になった。藻の中にハエが、川海老がすいすい泳いでいた。

2 源八橋のたもと 太平洋戦争の頃の話だが、空襲で焼けたこの辺りに工業高校の先輩のお宅があつて、見舞いに「やあ来てくれたんか」と先輩は橋の袂の防空壕に案内して座つてからボンボンと床や、天井や、壁をたたき「これ、皆(技術)の本や。焼かれんようにな、これで大丈夫や」と笑つて語られた。先輩は戦後、新幹線車両のある部分に設計したと後輩達は聞かされたが、後に酒で体を壊して亡くなられた。今は防空壕も跡形もなく緑葉樹が繁茂している。

3 都島本通の交差点 いまは地下鉄の昇降口ができていますが、この交差点は思い出がある。私の母校都島工業には年に一回1800メートルを走る競技会があつた。昭和17年夏、学校の校門をくぐつてワットと外へ出るとこの交差点で一時ストップさせられる。それから延々京阪国道を走り続けて行くわけだが、ここに帰

つてくるこれから先の行程を考えるとうんざりしたものだ。水品と言ふ級友がいたが、こいつが剣道の時に面の下に締める日本手拭が頭に汗で巻くく臭つたのが、強烈に鼻に印象に残つてゐる。彼は後に海軍兵学校に行き、復員後郷里の長岡工専に行った。プレス工場の社長になつて一度明治座に訪ねてくれたが、後に交通事故で亡くなつた。交差点に立つと彼のことや他の奴らの顔を思い出す。

4 天六あたり 十丁目筋と言ふのが今もある。入つた所に氏原と言ふ荒物屋があつた。その店に怖い感じの先輩がいたが、どうなさつておられるか。もう昔のことだから消息は知らないが、豪傑のような顔をしておられた。昭和17、8年頃のことだ。

5 天満天神様の裏道 石段が残つてゐる。何時もここから天神様の境内に走り込んで遊んでいた。八千代座の楽屋口がその道にあつて、楽屋口の向かいにあん巻き屋があつて、お婆さんが焼いていた。鞍馬天狗風寛十郎丈も子役で出ておられたそう、子役の大將だつたと聞いたことがあつたが先輩だ。大阪で懐かしい処だ。その道を左に曲るとニューリス館があつた。東条陸軍大臣がオリソピックの中止を演説したニュースをみた記憶がある。昭和13年であつた。

6 新歌舞伎座裏の喫茶店「青葉」 もう40年近い以前、新派の若手の頃にかいた提灯の絵があるのだ。これは関西歌舞伎の中村成太郎丈から教えて頂いたが原画はもつと良い形だつた。それをどうしても思い出せなくて我流に崩してしまつて申し訳なく思つている。それで提灯はよく思い出した、そのオリジナルがここににあるのだ。ゆく度に戻させられる。 7 大正橋近辺

友人の瀬戸一彦が大正橋の彼方、千鳥町にいたのでよく遊びにいったが、この橋だけは小学生の頃からの思い出の橋なのだ。1年生に入学した時から帰りに寄り道を渡つた。お袋を心配させた。大正橋を渡つた処にいた友達の家に寄り道したのだ。今は奇麗に整地されて何も無いが瀬戸君の処から帰る時はタクシーの中から必ず目がそこについてしまふのだ。

8 十三の西口を出て 広い阪神国道を渡るどむかし映画館と言ふ芝居小屋があつた。その小屋に伯父の一座の子役で出演してゐたのだ。がらの悪い処で例えは想像してみると昔の十三のあの劇場街に思い当たる。どぶ川が、流れて小鮎の死骸が流れていたりして、若い男達が殴りあひの喧嘩をしているのを楽屋の窓からみている十才ぐらいの少年の私だ。あの雑踏の中を走り回つて育つた私のエネルギーは次第に減少してゐるのか。

●浪速工業会と私達 (E13) 笹本克巳 浪速工業会は私達「都島工業学校」卒業生全体の同窓会であること。 古い話ですが当時(昭和四年)としては例を見なかつた昭和天皇の臨幸を賜つた名譽ある歴史を誇る名門校であること。 そして我が浪速工業会は学校の同窓会としては稀な「社団法人」の資格を持つ同窓会であること。

此等のことは皆ご承知のことと思ひます。 斯る母校を卒業し、斯る同窓会の一員である私達は今一度想いを新たに、その伝統を護りつつ、一人々々が自覚と責任をもつてその活動に相携えて尽力しようではありませんか。 関東浪速工業会は大正四年応用化学科卒の重松大佐(浦和

市にてご健在)を中心として、殆ど故人となられた大正から昭和初期の大先輩達が親睦団体として創設されたもので古い歴史を重ねる今日に至つて居り私も若僧の頃いろいろと面倒を見て頂いたことを懐かしく思い出されます。 今日、大阪の本部との連絡も益々緊密になり支援も受けて活動して居り年一回の総会の他、懇親旅行、見学会、講演会、更にゴルフコンペなどを恒例行事として実施してゐます。

此等の実施については各料が輪番制で担当し各料から数名の幹事が出で隔月位に幹事会を開いて討議してゐます。 この幹事会も曾つては戦前戦中派が中心でしたが近年は戦後の30年代、40年代卒の若い方達が多勢出て下さつて、夫々本業の仕事の合間を縫つてボランティア精神で尽力されていることをご認識下さい。 又今年から巻頭記載の通り事務局を設けて会の窓口として本部との連絡も総て此処を中心に行つて居ます。

茲に敢て「浪速工業会と私達」と題し拙文を書きましたのも実は今年五月、本部から個人別会費納入実績のついた関東在住者リストを送つて頂いた処、今日迄幹事間に分らずに連絡も差し上げていなかった方々がかなり居られることが分かつたのでこのMニュースをお届けすることに、より関東浪速工業会の存在と活動状況を知つて頂き此の機械にぜひ関心を持って頂いて積極的ご協力をお願いする次第です。

諸お問合わせ、住所等の変化その他お知合い同窓の状況等何でもご連絡頂き事務局をご活用頂ければ幸いです。 事務局として、本業の傍らお手伝いしている私は毎日出勤していますからお心安くお電話で

も下されば会費のことは大体何でも分かつてゐます。 ●最後に会費について 各位が(本部)浪速工業会へ年会費3000円を納めて頂くことになって居りますが、その内関東在住者からの納入人数に依り1000円宛を支部への還元金として関東へ還元していただき、それが関東の運営資金となつてゐます。 ・本部への年会費納入者は僅か一割余りの由、関東としては約730名中200名弱で従つて年間20万円弱の還元を受けているのが実状です。

このように本部での会費収入が悪化し会の運営が非情に苦しくなつてゐる由、伝統ある浪速工業会の健全な運営と発展のため会費納入にぜひご協力願ひたく存じます。 関東では還元金の殆ど全てがこのMニュースの印刷、発送費は勿論、諸行事案内状の印刷、発送の通信関係費に使つて居り、一人でも多くに発送、連絡できるように会費を納入して下さい。 最後にもう一度

同じ母校に育つた同窓として、親睦に、情報交換に、将又仕事上での相談や協力に、役立つことも沢山あります。 会への関心を改めて持つていただいてそのご協力をお願いして終ります。

●編集後記 東西合同懇親会へ協賛参加等諸々の用など幹事多忙のため、Mニュース春号を発行できず今号となりまして、 会費の件他、一人でも多く会に関心を持っていろいろな面に参加して下さいことを折るや切なるものがあります。 今後共 よろしく。 事務局